

地域コミュニティを考える ワークショップまとめ

平成 26 年 5 月

新潟市地域・魅力創造部 政策調整課



■ワークショップ実施概要

【目的】

次期・新潟市総合計画策定にあたり、地域のつなぎ役・活動主体として最前線で活躍している各種地域コーディネーターが一堂に会するワークショップを実施することにより、暮らしやすい地域コミュニティを実現させるための方策を探るとともに、持続可能なまちづくりに向け、現場の声を次期総合計画に取り入れることを目的とする。

【ワークショップの対象者】

新潟市のこれからのまちづくりにおいて重要な役割を担う、各種地域コーディネーター（地域教育コーディネーター／地域福祉コーディネーター／コミュニティ・コーディネーター）。

【ワークショップ参加人数】

地域教育コーディネーター：7名
地域福祉コーディネーター：3名
コミュニティ・コーディネーター：2名 合計12名

【ワークショップ開催日時および会場】

開催日時：平成26年5月18日（日）13:30～15:30
会場：新潟市役所本庁舎3階 対策室3

■ワークショップで出された主な意見

暮らしやすい地域コミュニティを実現させるためには？

★コーディネーターの活動のポイントは・・・

点と点をつなぎ線にするために、つなぎの部分を目滑りにしていくこと

○目滑りな活動を行うために必要なこと

◎地域活動の情報共有

- ・個人と個人をつなぐコーディネーターで得られた情報を発信していきたい。
- ・周りの地域の活動が共有でできれば、いろいろな可能性が見えてくるかもしれない。

◎地域活動の人手の確保

- ・地域的に前に出る人が少ない。
- ・ボランティアの固定化がある。
- ・自治会、コミ協にもっと若い人が入るべき。

◎地域活動への支援拡充

- ・ボランティアにしても定期的な仕事は有償で行いたい。
- ・地域の茶の間運営費が不足している。

◎世代間交流の活性化

- ・高齢者と子どもが近づける場があるとよい。
- ・高齢者は子どもがいる場所は好きである。
- ・高齢者の居場所と生徒の活動の場を増やしたい。

◎学校との連携強化

- ・先生が忙しく相談する時間が取れない。
- ・地域から依頼があっても生徒の時間が取れない。
- ・地域のイベントなどへの保護者の参加が少ない。

◎地域の交通システムの構築

- ・高齢者が地域の茶の間に行く交通手段がない。
- ・バスが昔の行政区で走っているため、もっと広い範囲を回った方がよい。